



ナカムラ病院

介護老人保健施設 **まいえ**

医療法人ピーアイエー

グループホーム **つばい**



特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所

訪問介護事業所

居宅介護支援事業所

社会福祉法人双樹会

C&C コミュニケーション

第60号

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1 TEL(082)923-8333(代)
ホームページ <http://www.pia-gr.or.jp/>

認知症病棟合同活動

— 調理活動・作品作りを通して —



認知症病棟（B5・B6・B7・A3病棟）では、調理活動や作品作りなどの合同グループ活動を開始し、昨年十二月に鍋パーティ、今年二月に雛飾り制作を行いました。

十名の患者さまが参加された鍋パーティでは、久々の料理ということで、初めは緊張気味だった患者さまも、すぐに慣れた手つきでテキパキと調理を進めておられました。

野菜を切るのがとても早い方、職員に料理について教えてくださる方など、患者さまの普段とは違った一面を見せていただくことができました。

そして料理の楽しみといえは試食ですが、皆さま、「いいおだしが出てますねえ。」と嬉しそうに話しながら召し上がっておられました。

雛飾り制作では、お雛さま・お内裏さま・桃の花など、計十三種類の飾りを八名の患者さまに分担して作っていただき、ひとつの吊るし飾りが完成しました。初めて顔を合わせる患者さま

の間では、自然と冗談を交えた自己紹介が始まるなど、他病棟の方との交流もひとつの楽しみとなつていくようでした。

これらの活動は各病棟専従の作業療法士四名が運営していますが、病棟職員の協力も大きな助けとなつていきます。

現在はまだ二回の実施のみですが、今後さらに試行錯誤を重ね、より患者さまに楽しんでいただける活動にしていければと思っています。

ナカムラ病院リハビリテーション科
作業療法士 中本 慈子



◀とてもかわいい吊るし飾りが完成です!!

平成二十一年度 介護報酬改定について

平成二十一年四月に介護報酬が改定になりました。介護報酬は、介護保険が平成十二年に導入されてから、三年ごとに見直しが行われており、今回が三回目の見直しとなります。平成十五年の改定では、二・三%のマイナス(介護療養型医療施設や介護老人保健施設などの施設サービスでは四・0%のマイナス)、平成十八年の改定では二・四%のマイナス(施設サービスでは四・0%のマイナス)でしたが、今回はプラス三・0%(施設サービスでは一・三%のプラス)となっています。今回の改定は、介護職員の確保と人件費の地域差の是正、介護療養型医療施設の介護療養型老人保健施設への転換に配慮しプラス改定した、ことになっています。

主な内容としては、利用の基本料金と言うべきサービス費の増額、介護福祉士の配置数や常勤職員の割合などによる加算などがあります。しかし、管理栄養士の配置による栄養管理体制加算の基本サー

ビス費への包括化や、リハビリの算定方法の変更などによる調整も同時に行われています。また、介護療養型医療施設の有力な転換先と見られている介護療養型老人保健施設の報酬も増額となりました。

当法人全体で計算してみると、トータルでは0・3%のアップにしかありません。前回、前々回のマイナスされた報酬にはとても追いつきませんが、マイナスとならなかったことは評価できます。

介護保険導入時から、報酬が下げられ続けましたが、下げ止まったというところでは、三年後の介護療養型医療施設廃止時に、提供サービスの質が低下しないような報酬設定がなされることを祈るばかりです。



医療法人ピアーエー
事務部長 若宮 信二

満足度調査

ご意見と回答

平成二十年満足度調査にて、ご家族からいただいた具体的ご意見に対しての返答を、この場を借りてお知らせします。

【ご意見】

好き嫌いが多かったので手がやけたいと思います。食が細く困らせてばかりで申し訳ございませんでした。色々な患者さんがいらっしやるので一番難しい点だと思えますが、既成ゼリー(高カロリーのもの)をどうして

も食べないので一口いただいてみましたところ、酸味・甘み等が強過ぎると感じました。栄養士さんの苦労はわかりますが、そこいらも気を配っていたらけると有難いかな?と思いました。

【回答】

ご意見ありがとうございます。ナカムラ病院、老人保健施設まいえ、デイケアにぎや家の約五三〇名さま分のお食事を同一の厨房内で、通常約二〇名前後のスタッフで提供させて頂いております。

約五三〇名の方の中には経管栄養食の方、ベースト食の方、また特殊栄養食品を食べられている方などさまざまな食事内容の方がおられます。

それらの方達に使用させて頂いている商品に関しては、給食委員会等で検討しておりますが、十人十色と言いますように、全ての方達に満足していただけないところも現状としてあるかもしれません。特殊栄養食品や濃厚流動食に関しては高カロリーのものも多く、濃厚な味がするものもあり、その中でも、できるだけ「おいしいもの」と思い選ばせていただいておりますが、中にはお口に合わない方もいらっしやりました。

かもしれません。そういう場合には、どうぞ遠慮なく病棟スタッフまたは栄養科スタッフまでお知らせ下さい。厨房内で対応できる範囲内において検討し、変更させて頂いただけでもできると思います。また特殊栄養食品や濃厚流動食等については毎年、栄養科が担当して行う家族会において購入している会社は何社づつか依頼をし、商品の展示と相談も行っております。是非ご参加いただき、試食や相談をしていただければと思います。今後も患者さま達に喜ばれる食事作りを目指し努力していきたいと思っておりますので、何かお気づきの点等ございましたら、遠慮なくご相談下さい。よろしくお願致します。

ナカムラ病院
栄養科主任 前原 陽子

陽光の家通信

【ケーキ作り】

平成二十一年三月八日(日)にご入居者さまと家族会とで一緒にケーキ作りを行いました。最初ご入居者さまは何ができるかと興味津々で期待を膨らませている様子でした。家族会の方々にも手伝っていたら、生クリームをたてる所は慣れた手つきで手順よく進まれています。ケーキをデコレーションするところでは、今旬であるイチゴやみかん、ももの果物を使い「こうしたらきれいに盛り付けられる。」「果物をたくさん使ったらいんじゃないか。」という意見も出てにぎやかに行うことができました。



▲出来上がるのが楽しみじゃね～

「乾杯」という合図で一斉に食べ始め、ケーキを作る時間よりも食べる時間の方が早く、とてもおいしくいただけました。ご入居者さまから「おいしい」「うまい」という声をいただき、自然に笑顔になられていました。家族の方と一緒にいただくケーキはいつものおやつとは格段と違い、とてもおいしかったことだと思います。また、家族会の皆さまの協力があったからこそ、有意義な時間になったことだと思います。

特別養護老人ホーム 陽光の家

介護職 佐々木雄治

歯科の扉

～高齢者の食について～

●嚥下(えんげ)

嚥下とは、食べ物を飲み込むことで、この動きは反射によって無意識のうちに行われています。

高齢で嚥下機能の低下した方や脳血管障害の後遺症で嚥下障害のある方がいらっしゃいます。食事の時、「飲み込みが難しい」、「むせる」など症状があり、普通の食事をとるのが難しくなります。食物が気管へ行くと誤嚥性肺炎の恐れもあります。

私たちは嚥下機能検査を行い、嚥下しやすい食形態や体位、リハビリテーションについて検討しています。これにはいろいろな職種の人関わっています。食べることに携わる私たちは、噛むこと、味わうことばかりではなく、飲み込むことも考えているのです。

歯科医師 田地 豪

つばいこぼれ話

にお邪魔し、健やかな成長を願う子供の誕生日に贈られる色鮮やかで伝統的な三次人形を見せていただくことになりました。「皆さんに見ていただくのが一番の楽しみです」と話され、ひと昔前の鉄瓶・掛軸・屏風なども見せていただきました。すると皆さん懐かしく我が家

つばいで日課としている散歩コースで声をかけていただいたのがご縁で、近所の寺本さま宅

思い出されたのか涙ぐむ場面も。つばいに帰っても「大きくみごとじゃったね」と話は弾みました。寺本さま、お手伝いいただいたボランティアの皆さま有難うございました。

グループホームつばい
介護職 田田 弘子



第21弾 在宅介護の助っ人!!

～要介護認定制度の見直しについて～



平成21年度より、介護保険制度の要介護認定が見直され、認定の調査項目が現行の82項目から14項目が削除され、新たに6項目を加えた74項目へと改定されました。今回は、広島市城山・五日市観音地域包括支援センターの松本慶太さんに、変更点について紹介していただきます。

●認定調査項目の変更

削除項目は「褥瘡」など主治医意見書と重複している項目や「暴言・暴力」「不潔行為」など直接本人に聞くことが困難な質問の項目です。追加項目は「簡単な調理」など生活状況を判断する項目です。

今回見直された調査項目

	削除	追加
	<ul style="list-style-type: none"> ●肘関節の拘縮（こうしゅく＝関節の周りがこわばり、あまり動かない状態） ●足関節の拘縮 ●褥瘡（じょくそう＝床ずれのこと） ●皮膚疾患 ●飲水 ●電話の利用 ●指示への反応（指示が通じているかどうか） ●幻視・幻聴 ●暴言・暴行 ●火の不始末 ●不潔行為 ●異食行動（食べられないものを口に運ぶ） ●日中の生活（よく動くか、横になることが多いか） ●環境などの変化（活動の制限が、居住環境などによるものでないか） 	<ul style="list-style-type: none"> ●独り言・独り笑い ●自分勝手に行動する ●話がまとまらない ●集団への不適応 ●買い物 ●簡単な調理

●認定調査項目の選択基準の変更

現在の認定調査項目におきましても、一部選択基準が変更となります。これまでの選択基準では、調査員の判断によってバラつきがありました。今回の改定では、各項目の選択基準に①能力（「できる」か「できない」か）②介助の方法（介助が「されている」か「されていない」か）③障害や現象（行動）の有無（「ある」か「ない」か）の3つの評価軸を採用し、判断にバラつきを生じる原因となった「総合的に勘案」「独居勘案」「能力勘案」等のあいまいな選択基準をできる限りなくしています。また、原則は実際にやってみてもらい観察して「目に見える」「確認できる」ことをもとに調査を行うこととなります。例えば、第1群の身体機能の麻痺や拘縮の調査では、従来では日頃の生活状況からみて日常生活に支障がある運動機能の低下や関節の動く範囲の制限があるかどうかを判断する項目であったのが、新しい調査では手が肩まで挙がるか、曲げたり伸ばしたりできるかを測定する項目に変わります。

このように従来とは調査方法が変わり、要介護度が変わる可能性があります。改定後の調査方法では、本人の状態像がわかりやすくなり、本人にとってより適切な介護量が推定できる仕組みになっています。

調査項目一覧

群	身体機能	生活機能	認知機能	精神・行動障害	社会生活への適応	その他
第1群	身体機能・起居動作	麻痺や拘縮による四肢の機能や起き上がり、歩行等の起居動作				13項目
第2群	生活機能	食事摂取や洗顔等の日常生活動作の機能や外出頻度の生活活動				12項目
第3群	認知機能	意思疎通、短期記憶、徘徊等				9項目
第4群	精神・行動障害	認知症により、社会生活上、場所や目的から逸脱した状況等				15項目
第5群	社会生活への適応	金銭管理や買い物等の社会生活を行う能力や、日常の意思決定、集団への参加ができるか等				6項目
その他	過去14日間にうけた特別な医療について					12項目



5月 ▶ 8月

今後の予定

※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	5月8日 ▶ 6月10日 武永楨雄・川堀耕平 師弟展 —武永楨雄 没後13周年記念—
	6月13日 ▶ 6月26日 上野真樹 木版画展 賛助出品 齋藤徹(木工) ※6月13日(土)午後3時～バイオリンとピアノのロビーコンサート
	7月上旬 ▶ 8月末 日本書教育連盟 広島支部展
第二展示コーナー	5月8日 ▶ 6月10日 武永楨雄・川堀耕平 師弟展 —武永楨雄 没後13周年記念—
	6月中旬 ▶ 7月末 熊野高校の「鉛筆画」
	8月上旬 ▶ 8月末 広島県立五日市高等学校 美術・書道展

ギャラリーで作品展をしてみませんか

病院内の美術ギャラリーで患者さまや地域の皆さまに喜んでいただける美術作品展の事業をすすめております。

「自分の描いた作品や写真などを患者さまのために…」と思われる方は美術ボランティア作家として、この企画に参加ください。

○ギャラリー使用料	無料
○作品展示・撤去	原則使用者負担
○テレビなどへの案内・チラシ制作費	当方負担

ギャラリー顧問 赤木 博典

詳細は ▶▶ TEL 082-923-8333 [担当・中田]

病院や施設に入院、入所されている方にとって、楽しみといえば食事の時間だと思います。しかし、同一の厨房内でお食事を作り提供しているため、患者さま方に満足していただけているかと言えば、不安な面もあります。そこで、委託をお願いしている日清医療食品(株)の方たちといろいろ相談、検討し、実現したのが「そば打ち実演」と「ブリの解体ショー」です。

「そば打ち」は、まいえ1・2とナカムラ病院B7病棟で行いました。皆さん楽しんで見入っておられ、「昔は、自分もやっていた」と言われる方もおられたり、とそばの香りをともに懐かしまれていたようです。また、そばを切る作業も何名かされましたが、始めは躊躇されていた方も切り始めるとなかなか手を止められなかつたり、と和やかな時間を過ごされていました。調理後は横笛の演奏とともにそばの味を堪能され、おかわりをされる方もいらつ

趣向を凝らしたお食事を...



▲「同じ太さに切るのが難しいよね」と懐かしまれる方もいらっしゃいました

しゃいました。

「ブリの解体」は、まいえ1・2で行いました。入所者さまの目の前で楽しいトークとともに解体していきます、ブリの炙り寿司の実演も行い、ブリ大根、ブリの味噌汁などを厨房からお届けしました。笑顔で食されている入所者さまの笑顔を見て、私たちもうれしく思いました。

今後も、皆さまの笑顔をみられるようなお食事作りを続けていきたいと思えます。

医療法人ピーアイエー

栄養科主任 前原 陽子



▲見事な包丁さばきで調理されました



▲患者さまのリクエストで育てた“聖護院大根”です



昨年(2008年)の9月、恒例の冬野菜の種まき、植え付けをしました。これまで育てたことのあるジャガイモや人参などに加え、ブロッコリーやカリフラワー、ソラ豆にも挑戦しました。大根の種類は患者さまのリクエストで、柔らかくて甘い「聖護院大根」です。



▲収穫したばかりのカリフラワーです

私たちは患者さまと一緒に野菜の成長を楽しみにしつつ見守っています。今回の冬野菜では、ブロッコリーとカリフラワーの苗を植えるときに畝は作らなくても良いことや、日光から守るためにカリフラワーの花雷を葉で包んで藁で縛ることを患者さまから教えていただきました。収穫した野菜は患者さまたちと大根の煮物や大根葉のおひたし、クリームシチューにしていたきました。

そして畑は一段落…。今は冬の間は休憩していたソラ豆が成長を再開しています。今は夏野菜に向けて準備中です。

ナカムラ病院リハビリテーション科

作業療法士 楊 盧木雅子



ひな祭り 料理教室

桜餅作り



「一緒に桜餅を作りませんか？」
職員のそんな呼びかけに今月も八
名の方が参加されました。まいえ
1では毎月料理教室を開き、入所
者の皆さんと季節にちなんだ料理
やお菓子を作っています。

三月三日はひな祭り。この日料
理教室で桜餅を作って、午後から
行われるひな祭り会でみんなに食
べていただくようと計画しました。
桜餅作りは初めてでしたが、そ
こは皆さんさすがの大ベテラン。
手際良く粉を混ぜたり、あんを丸
めたりしていきました。

「子どもの頃は巻き寿司で祝つ
てもらったんだよ。」「うちの田舎じ
やシバ餅を作りよった。」と昔話
に花が咲きみんなの顔に笑みがこ
ぼれます。その後もみごとな手さ
ばきで、和菓子職人が作るよう
な美しい桜餅を次々と作っていきま
した。

午後からのひな祭り会では、そ
れぞれが思い出話を披露したり、
歌を唄ったり楽しいひととき。そ
してお待ちかねの桜餅の登場です。
「わく、いい香り」「やわらかくて
美味しいよ」と、普段食の細かい方
もペロリと平らげるなど、手作りの
季節の味に皆さん大満足の表情
をしておられました。

これからも入所者の皆さんと季
節の行事を楽しんでいこうと思っ
ています。

介護老人保健施設まいえ1

介護職 斉藤ひでみ

いきいき行事だより

1月

- 互礼会(陽光の家)
- ハーモニカ演奏(B1・B7)
- 絵馬奉納(まいえ1)
- 初詣(まいえ1)
- 料理教室(まいえ1)
- ぜんざい作り(A3)
- 新春お茶会(にぎや家)
- 新春ゲーム大会(B7)
- 昼食バイキング(まいえ1・まいえ2)
- 書き初め+おしるこ(B5)
- お茶会(B6)
- 院内喫茶(まいえ2)



2月

- 節分(まいえ2・つばい)
- 豆まき(B6・まいえ1)
- 節分だよ～ん、鬼退治(B1)
- 節分ゲーム大会(にぎや家)
- ハーモニカ演奏会(A3・まいえ1)
- 料理教室(まいえ1・まいえ2)
- 節分豆まきwithバレンタイン(B7)
- 鬼が来た!!桃太郎の鬼退治だ～!(A3)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 院内喫茶
- 全体行事
～シオン幼稚園ママさんコーラ
スと広島工業大学鼓遊会の和
太鼓～



3月

- 雛祭り、料理教室(まいえ1)
- ひな祭り寿司作り(にぎや家)
- ひなまつり外食(つばい)
- ハーモニカ演奏会(B1・B7・A3)
- ふれあい・ほほえみユニット
家族交流会(陽光の家)
- 院内喫茶(まいえ2)
- ひな祭り(B6・A3)
- そば打ち職人見学(B5)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 甘酒&どら焼き作りと恵会(まいえ2)
- 家族会役員会(陽光の家)
- いこい・つどいユニット
家族交流会(陽光の家)
- ひな祭りと動物ゲーム(B7)
- フルーツバイキング(まいえ1)
- 料理教室(まいえ2)

新入職員 15 名にききました

あなたの長所は？



橋本 修
A3病棟 介護職

人と接することが好きで、相手を和ませることに長けている



山田 享子
B2病棟 介護職

声が大きく、誰とでもおしゃべりが出来るところ



中倉 千春
B5病棟 介護職

何事にも明るく、楽しく、マイペース



伊藤 正志
B6病棟 介護職

人に優しいこと



河内 拓馬
B7病棟 介護職

まっすぐなところ



大岡 玲子
医療福祉相談員

よく笑うところ



光勢 聖子
デイケア 看護師

物事を明るく考えていくこと(そして失敗するのですが…)



高橋 麻衣
まいえ 介護職

何事にもまじめで丁寧かつ情もあるところ



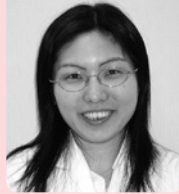
富廣 洋平
言語聴覚士

元気と体力があり、よくご飯を食べるところ



小田 香織
作業療法士

明るく、元気に笑顔でいるところ



西田 典子
臨床心理士

明るく、元気なところ



半田 理彩
陽光の家 介護職

話してみると話しやすいと言われるところ



灰岡久美子
陽光の家 介護職

積極的に物事に取り組むところ



多田 麻水
陽光の家 介護職

いつも明るく誰とでも仲良くなれること



藤本 翔平
陽光の家 介護職

いつも明るく元気なところ

平成二十一年度がスタートしました。今年は例年に比べ花粉の量が多いそう、読者の方の中には花粉症で苦しんでいる方が多いのではないのでしょうか？花粉症にはヨーグルトを食べると良いそう、花粉症に苦しむ私も、毎日ヨーグルトを食べて花粉症と戦っています。

春の訪れと共に、今年もピーア イエー、双樹会には十五名の新入職員が入職しました。入職二年目を迎える私も、今後も新たな気持ちで日々の業務やC&C作りに励んでいきたいと思えます。(S)

編集後記

祝! 合格

働きながら勉強し、見事に資格を取った職員の方々です。おめでとうございます。

【 看護 師 】 山根 孝之

【 准看護 師 】 矢野 伸哉 三分一恭子

【 介護福祉 士 】 山本 将典 木村 信広
西村 陽子 上田小百合
齋藤 典子

【 介護支援専門員 】 山崎 恵子